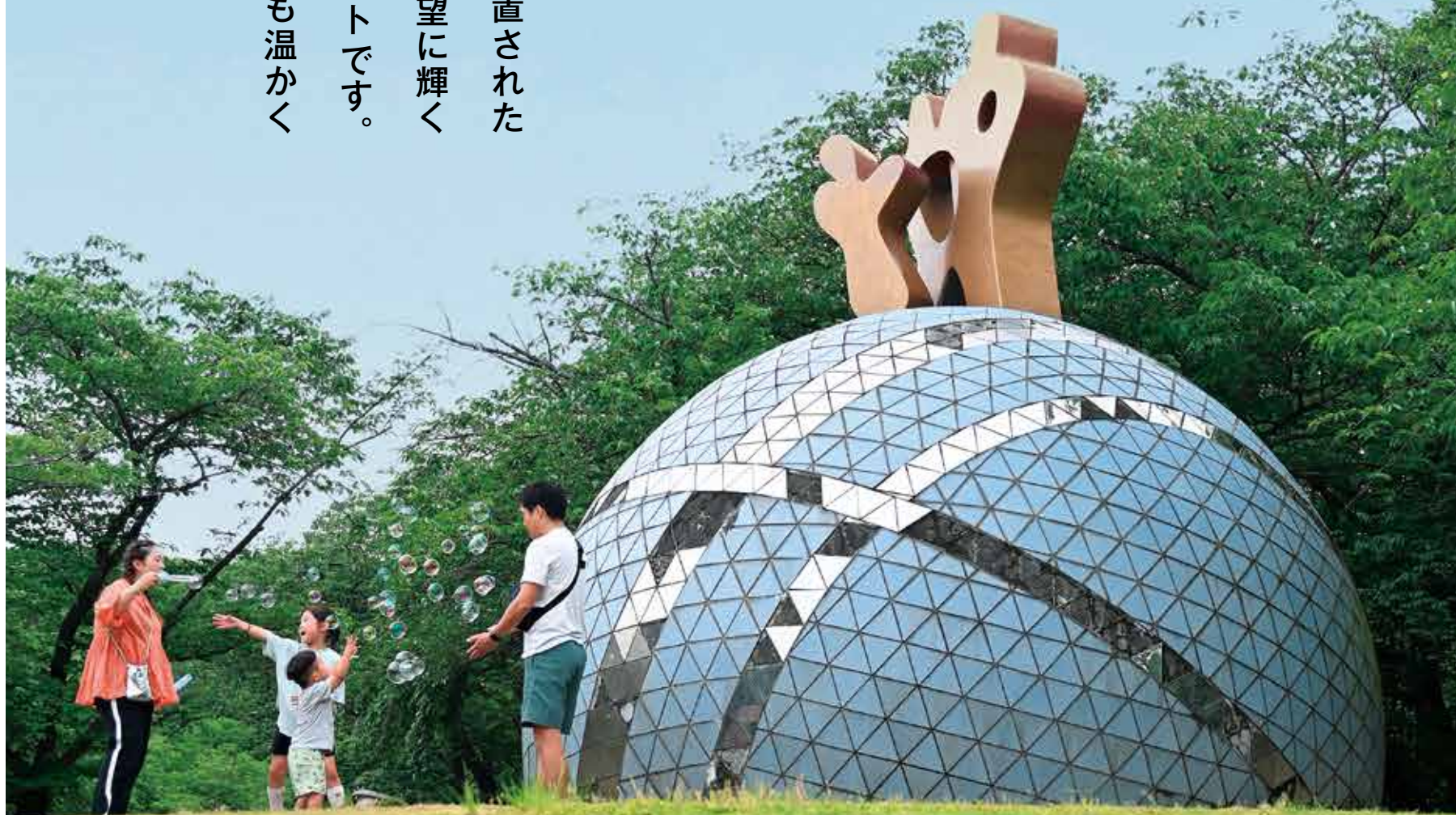


ひらつか

広報 2025 7 月
No.1274 第1 金曜日号

恒久平和を願い、総合公園内に設置された『マザーアース』。美しい地球と、希望に輝く幸せな家族を象徴するモニュメントです。園内で楽しく遊ぶ家族らを、いつも温かく見守っています。



平塚空襲・終戦から80年
核兵器廃絶平和都市宣言から40年

平和を紡ぐ

目次

1～3面…**特集** 平和への思いを未来につなぐ…かけがえのない日々をこれからも紡いでいくために、過去の戦災を知り、平和を考えませんか。
4～7面…募集・夏のイベント・お知らせ・健康と福祉・スポーツ「広げよう #あったかひらつか」
8面…ヒラツカルチャー「ひらしん平塚文化芸術ホールへ行こう」

平塚市の推計人口と世帯数
<令和7年6月1日現在（ ）内は前月比>

人 □ 257,808人…(-42)
世帯数 119,067世帯…(+63)

●発行 平塚市 ●編集 広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 FAX 0463-23-9467



●配布のお問い合わせは、ミッド ☎0120-350311 (月～金曜日、午前9時30分～午後5時)

平和への思いを未来につなぐ

かけがえのない日々をこれからも紡いでいくために、過去の戦災を知り、平和を考えませんか。

問 行政総務課 ☎ 21—9754

平塚空襲を語り継ぐ

平塚空襲があったとき、私は12歳。夜遅くだったので、寝ていたところを父に起こされました。これまでは空襲警報が鳴っても、敵機は通り過ぎるだけでした。その日も「また上を通るだけだろう」と思っていたのですが、父が「いつもとは違う」とすごい剣幕だったのを覚えています。外

に出ると、家から見て南東方面に照明弾が見えました。その瞬間、夕立や集中豪雨よりも激しい「ザーツ」という音。今まで聞いたことのない、とても怖い音です。「焼夷弾が落ちてくる。しかも真上だぞ」と父が私たち家族に言った直後のことでした。

当時は家の敷地に防空壕が



平塚の空襲と戦災を記録する会 会長 江藤巖さん

昭和8年2月生まれ。平塚空襲当時は、現在の夕陽ヶ丘地区に父・妊娠8か月の母・姉(16)・兄(14)・妹(9)・弟(7)と暮らしていました。



人が育たないようにしてはいけない。これからは長く生きる子どもたちには、大人になっても戦争はだめだと言える人になってほしい。また、違うと思った意見に対して、違うと言えぬ人にもなってほしいと思います。人任せではなく、私たち一人一人が平和を築き上げていくのです。

これからも伝え続ける

平塚の空襲と戦災を記録する会が結成されたのは平成元年。私は平成7年に入会しました。当時62歳だった私は、仕事を辞めて何をしようか考えていたところでした。市博物館で開かれていた平塚空襲50年の特別展に足を運ぶと、展示されていた学校日誌の空襲死亡欄に妹と弟の名前があったんです。見つけた瞬間、ハッとしました。同時に「これからの子どもたちに戦争を起こしてはいけないと伝える活動をしなければ」と心に決め、その場で入会したんです。

結局この空襲で姉・妹・弟を亡くしました。戦争は本当に悲惨です。二度と繰り返してはいけません。

一人一人が平和を築く

これは私の考えですが、戦争の発端は、突き詰めると一人の人間の私利私欲に行き着くと思っています。たった一人でも、絶大な権力を持つてしまふと恐ろしいことにつながりかねません。そういった

平塚空襲

昭和20年7月16日午後11時32分から100分間、アメリカのB29爆撃機133機から焼夷弾が投下されました。焼夷弾はM47とM50、合わせて41万2,961本にものぼります。一晩で落とされた数としては、全国で3番目。死者362人以上、罹災戸数は7,678戸と、大きな被害を被りました。



焼け野原と化した現在の旧国道1号と不動大門通りの交差点付近(米国立公文書館蔵)

あり、軒下から防空壕までは2層ほど。防空壕に入ろうとした瞬間、真つ青な閃光が目飛び込んできたと同時に全身が熱くなりました。M47焼夷弾が壕内に落ちて私と弟が火だるまになり、父が抱えて防火用水に投げ入れてくれました。防空壕の中にいた姉には火が付いていませんでした。父が助け出して立たせたとしたら、父が助けて出た瞬間、姉は倒れてしまいました。右足首が切れていて、皮一枚でつながった状態だったんです。母が姉の腿に三角巾を強く巻いて止血を試みましたが止まる気配はありませんでした。妹は即死の状態でした。焼夷弾の破片が妹の胸を貫通していたと知ったのは後日のことです。



会では、空襲の証言などをまとめています。月に1回の定例会の他、平塚空襲を経験した方に自分の足で会いに行き、話を聞いて記録に残します。未来に向けて戦災を伝える方法を模索しながら、今後も活動を続けていきます。



空襲・終戦80年 宣言40周年 記念事業

■七夕まつりでの平和飾り I LOVE PEACE事業運営委員会が掲出します。7月4日(金)～6日(日)。湘南スターモール商店街。

■竹あかりワークショップ 7月13日(日)午前9時～午後2時。70人(当日先着順)。雨天中止。総合公園(大原)。

■いわさきちひろ平和パネル展 ちひろ美術館の協力で開きます。①7月15日(火)～21日(祝)、午前9時30分～午後4時30分(15日は1時から。21日は3時まで)。美術館(西八幡)。

■平塚駅南口広場の噴水を青色にライトアップ 7月15日(火)～8月17日(日)。平塚駅南口広場の噴水「海の賛歌」。

■講演 杉原千畝 命のビザ 杉原千畝さんの孫、杉原まどかさんが話します。7月19日(土)午後2時～3時30分。美術館(西八幡)。

平和に思いを馳せて

平塚市長 落合克宏



終戦からまもなく80年が経過します。戦争を肌身で知る世代が減りゆく中で、その記憶が次第に薄れていくことを危惧しています。また、今なお世界各地で紛争が続いており、恐怖に怯えながら暮らしている人々が数多くいます。

私たちが平穏に暮らせているのは、先人たちの不断の努力により日本が復興したおかげであることを忘れてはなりません。核兵器のない、平和で安心して暮らせる社会の実現に向けて、市民の皆さんと平和の尊さを見つめ直し、次の世代に引き継いでいくことこそが私たちの責務だと考えます。

本市では「アイラブピース」を合言葉に、平和意識を普及・啓発する事業を進めています。二度と悲惨な戦争を繰り返してはなりません。この節目の年に市民の皆さんが、さまざまな機会を通じて平和へ思いを寄せていただくことを願っています。

美しい地球と 輝かしい未来を 守ろう



市が核兵器廃絶平和都市を宣言してから今年で40年を迎えます。宣言を普及・啓発するため、市役所本館の南東側出入口付近の懸垂幕(写真左)をはじめ、市内7カ所に宣言塔などを設置しています。懸垂幕のデザインは、I LOVE PEACE事業運営委員会が考案しました。下部に描かれたなでしこの花びらには、小さく「へ」「い」「わ」の3文字が書かれています。

総合公園平塚のはらっぱ西側には、被爆アオギリの2世(写真右)を植えています。広島に投下された原爆の爆心地から1.3㎞で被爆したアオギリの苗木で、平成27年に植樹しました。

戦災を風化させない

平成23年から「アイラブピース」事業運営委員会での活動を始めた眞田さん。元々平和活動に関心があり、地域婦人団体に加入したのできっかけに、同委員会の存在を知りました。

毎年、平塚が空襲を受けた7月16日にキャンペーンをしている同委員会。「曜日にかかわらず、必ず7月16日に活動しています」と眞田さんは言います。チラシなどを配り、平塚で空襲があったという歴史を多くの方に知ってもらうために続けています。今年は市美術館で、いわさきちひろ平和パネル展(2面下囲み)の期間中に活動します。

平和の光を灯す

同委員会の主な活動の一つは、市民平和の夕べです。総合公園にある大池での灯ろう流し(下写真)や、戦時中の食の一端だったすいとんの試食会、中学生・高校生によるコーラスなど、平和意識の普及と啓発を図るイベントです。

眞田さんが委員長に就任したのは平成28年。就任後には、



I LOVE PEACE事業運営委員会 委員長 眞田晃子さん

同委員会は、市と協働で平和事業の運営を担っています。市民キャンペーンや市民平和の夕べ、市民広島派遣などを通して平和の普及に取り組んでいます。



来場者の存在が原動力

眞田さんは「市民平和の夕べをはじめとする平和事業な



ろ(右写真)は、そういった悩みがほとんど解消されています」と続けます。市民広島派遣の担当委員として、広島

の灯ろう流しに参加した際、使われていた灯ろうを参考にしたそうです。

どに足を運んでくれる方々の存在が、活動の原動力になっています」と話します。毎年、市内外問わず多くの人が来場する市民平和の夕べ。1時間30分と短い時間ですが、昨年度は500人が集まり、大池に270基もの灯ろうを流しました。やはり、多くの方々に来ても

らえるのはうれしいですね。委員のみんなも同じ気持ちです」と目を細めます。「市民平和の夕べや市民キャンペーンは、平和への祈りで皆さんの思いが一つになる平和事業です。ぜひ多くの方に会場に足を運んでもらいたいです」

戦争と原爆の悲惨さを知った

市民広島派遣・・・平和記念式典への参列・被爆者との交流などを通して、平和の尊さや大切さを知り、1人でも多くの人に伝えることを目的としています。昨年度参加した2人に話を聞きました。

「平和記念公園にある、原爆の子の像にささげられた折り鶴の数に驚きました」と話すのは、高校1年生の高梨香帆さん(左下写真)。平和を願う人々の思いを感じた場所だったと言います。



平和記念式典や灯ろう流しなどには、年齢や国籍を問わず多くの人が訪れていたそう。「市民広島派遣は、本やインターネットで調べただけでは分からない、平和の尊さと戦争の悲惨さを肌で感じた貴重な体験でした。今後も平和への関心を持ち続けていきたいです」と、強い気持ちを抱きます。

「学校の配布物で市民広島派遣を知りました」と話す、中学1年生の大澤結衣さん(右下写真)。一番印象に残ったのは、被爆体験者の方の話だったそうです。「原爆の熱風で、街には皮膚が溶けた人があふれていたなど、生々しくリアリティのある話は衝撃的でした」と思い返します。

同派遣で学んだことをファイルにまとめて学校に提出したという大澤さんは「先生や友達と一緒に、戦争や原爆のことを考えました。市民広島派遣での経験を多くの人に伝え、知ってもらい、平和につなげていきたいです」と、思いを語ります。



3。130人(先着順)。

応募 イベント名・氏名・年齢を、電話・ファクス・メールまたは直接、行政総務課へ。

でも応募できます。

市民平和の夕べで竹あかりを展示 七夕まつりで使った竹を竹あかりにして展示します。8月17日(日)午後6時30分～8時。小雨決行。総合公園大池周辺(大原1ー1)。

こども平和川柳 市内の小・中学生を対象に、平和の願いを込めた川柳を募集します。

応募 9月30日(火)までに、氏名・学校名・学年・作品を、郵送・ファクス・メールまたは直接、行政総務課へ。でも応募できます。

核兵器廃絶平和都市の宣言板を設置 10月中旬。八幡山公園(浅間町1ー1)。

原爆の絵の展示 高校生と被爆体験者が共同で作った『原爆の絵』を展示します。11月25日(火)～12月24日(水)。本館1階多目的スペース。

被爆体験者の講演会 12月20日(土)午前10時～11時30分。60人(先着順)。旧横浜ゴム平塚製造所記念館(浅間町1ー1)。

応募 11月17日(月)から、イベント名・氏名・年齢を、郵送・電話・ファクス・メールまたは直接、行政総務課へ。でも応募できます。

その他の事業など、詳しくは市ウェブをご覧ください。右下の2次元コードからもアクセスできます。



行政総務課 ☎21-9754 FAX 23-9467 hira@somu@

小児・乳児を救うための救命講習会
8月2日(土)午前9時～正午。消防署本署(浅間町9-1)。市内在住・在勤・在学中で中学生以上の方25人(先着順)。筆記用具。動きやすい服装でお越しください。
応募 7月7日(月)から、電

八幡山の洋館 音楽のおくりものの出演者
11月8日(土)・9日(日)、午前10時～午後6時。旧横浜ゴム平塚製造所記念館。各日12組抽選、各日30分間を8組・60分間を4組)。内容な

市文化祭 舞台発表(音楽)の出演者
ピアノやアコースティック楽器などを演奏しませんか。11月1日(土)。中央公民館(追分1-20)。6組(抽選)。3000円(10分以内)。
応募 7月4日(金)～8月1日(金)に、氏名・電話番号・曲目・作曲家名・楽器・演奏

図書館ボランティアでひきこもり改善
7月18日(金)午後1時30分～4時。中央図書館(浅間町12-41)。不登校・ひきこも

DV防止啓発講座
DVへの対応方法や、DVが心と体に与える影響などを解説します。予約制で未就学児の保育もできます。
8月8日(金)午後2時～4時。市民活動センター(見附町1-8)。女性25人(先着順)。
応募 7月7日(月)午前8時30分から、電話または直接、〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-7-11 かながわ男女共同参画センター ☎0466-27-2111へ。同センターのウェブでも応募できます。

読書感想文の書き方講座
本を読んだ感想をワークシートで整理し、感想文を書きます。講座前に、感想文を書きたい本を1冊読んできてください。
8月5日(火)午後2時～4時10分。中央図書館(浅間町12-41)。市内在住・在学の小学校4～6年生12人(先着順)。読んだ本・筆記用具・飲み物。
応募 7月9日(水)午前9時から、電話または直接、中央図書館 ☎31-0428へ。

応募方法
● **応募** のある記事は事前に応募が必要です
● **必要事項** は郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号です
● メールの場合、@以下に、city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください
● eは、電子申請システム(イーカナガワ(e-kanagawa))。右の2次元コードからもアクセスできます
● 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます
市役所の開庁時間は、午前8時30分～午後5時です

応募方法は右側

ど詳しくは、市ウェブや旧横浜ゴム平塚製造所記念館にある、募集要項と出演申込書をご覧ください。
応募 7月5日(土)～26日(土)に、出演申込書を、郵送・ファクス・メールまたは直接、〒254-0041 浅間町1-1 旧横浜ゴム平塚製造所記念館 ☎035-711-1444 hachimanyam anoyokan@ma.scr-net.ne.jpへ。

就活パソコン講座
午前10時～午後4時。勤労会館(追分1-24)。学生を除く15～49歳の仕事を探している雇用保険未加入の方、各講座10人(先着順)。筆記用具。
エクセル 7月23日(水)・24日(木)、全2回。
ワード 7月25日(金)。
応募 電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

DV防止啓発講座
DVへの対応方法や、DVが心と体に与える影響などを解説します。予約制で未就学児の保育もできます。
8月8日(金)午後2時～4時。市民活動センター(見附町1-8)。女性25人(先着順)。
応募 7月7日(月)午前8時30分から、電話または直接、〒251-0025 藤沢市鶴沼石上2-7-11 かながわ男女共同参画センター ☎0466-27-2111へ。同センターのウェブでも応募できます。

親子で福祉体験 こどもスクール
点字板を使った点字作成(上写真)や、手話などを体験します。未就学のきょうだいの参加はお問い合わせください。
7月31日(木)、8月1日(金)、全2回、午前10時～11時30分。福祉会館(追分1-43)。全2回参加できる市内在住の小学生20人(先着順・1～4年生は保護者同伴)。筆記用具。
応募 7月7日(月)午前8時30分から、電話または直接、福祉会館 ☎33-0007へ。



復興まつりに集まった人々。演芸やパレードが開かれたという。奥にはステージや山車などが見てとれる。(昭和25年撮影 博物館提供)

昭和 和20年7月16日。空襲で平塚のまちは一夜にして焼け野原と化した。混乱する社会や経済を立て直すべく、人々は力を合わせ懸命に復興に取り組んだ。
昭和25年、苦しい戦災から5年が経ち、まちには活気が戻り始めていた。復興の目星が付いたとして、7月には市が「復興まつり」を開く。お盆を前にした農閑期なのも相まり、近隣農村の人たちが見物にとつとめかけた。商店街は爆発的な売り上げを記録した」と言う(『平塚市史10』)。
この復興まつりが、現在の

復興まつりから七夕まつりへ

湘南ひらつか七夕まつりの前身となる。まつりの終了後、復興まつりを毎年続けてほしいという声が市に寄せられた。しかし、「復興まつりの名称で毎年やるわけにはいかない」(『平塚市史10』)。そこで宮城県仙台市の七夕まつりを参考に、翌26年から平塚でも七夕まつりを始めることとなった。
復興 興の喜びが源点となった七夕まつり。現在では湘南ひらつか七夕まつりとして、百万人規模の人出を記録する行事に成長した。平和への祈りを込め、七夕まつりを未来へつないでいこう。

湘南ひらつか七夕まつり 今年の開催概要

7月4日(金)～6日(日)に開きます。豪華絢爛な七夕飾りを楽しみませんか。4日・5日(土)は午後8時、6日は7時まで。イベントの時間や内容など、詳しくは湘南ひらつか七夕まつりウェブをご覧ください。右の2次元コードからもアクセスできます。

問 商業観光課 ☎35-8107



イベントスケジュール

日	時間	内容	場所
4日	午前10時	開会式	紅谷町まちかど広場
	午前10時30分	七夕おどり千人パレード(右上写真)	湘南スターモール
4日～6日	ウェブをご覧ください	市民ステージ	ひらしん平塚文化芸術ホール(見附町16-1)
	午前10時～午後7時(6日は6時まで)	イベントブース 出展	見附台公園(見附町16-3)
		露店出店	オーケー平塚店前～まちづくり財団前交差点の道路
6日	午後4時	七夕飾りコンクール表彰式	ひらしん平塚文化芸術ホール
	午後6時	閉会式	紅谷町まちかど広場